

令和7年1月15日

令和6年度第10回理事会議事録

日時：令和7年1月15日（水）
第9回理事会 18時30分～20時40分

会場：（一社）大阪府理学療法士会生涯学習センター事務所
大阪市中央区常盤町1-4-12 常盤セントラルビル3階301号
Tel 06-6924-7233

出席者：中川理事長、射場副理事長、井阪副理事長、本田理事、中野理事、工藤理事、鈴木理事、
都留理事、實光理事、千葉監事、黒田監事、神尾監事、安積局長、田籠局長、辻岡局長、
総務部天野
欠席者：早瀬局長
書記：天野

令和6年度第10回理事会議題

（1）承認事項

ア 令和6年度第9回理事会議事録

資料参照の上、承認された。

（2）報告事項

ア 各局事業進捗報告

本田理事（事務局）より、総務部、財務部の進捗状況について資料に基づいて報告があった。総務部は公文書発行が4件、財務部は来年度予算案の修正、37回学術大会の財務処理準備を行ったこと、各部の財務処理を行ったことが報告された。
新年互礼会終了し、次の新年会に向けて節会事務局と調整進めていく。

安積局長（情報管理局）より、情報管理局の進捗状況について資料に基づいて報告があった。SM部はセンターホームページの管理運営を行い、研修会・学会の広報、センター主催研修会の広報を実施していることが報告された。ニュース編集部は府士会ニュース308号の取りまとめ、1月センター主催研修会情報のプッシュ通知の実施、ニュース発行に向けた事前会議を実施したことが報告された。SE部は大阪学会のサポートと賛助会員の広報を行ったことが報告された。

田籠局長（生涯学習局）より、生涯学習局の進捗状況について資料に基づいて報告があった。研修事業は12月・1月開催について報告があった。また2025年度センター主催研修会の開催計画を行ったことが報告された。3月には前期開催分の広報を行う予定。3士会合同セミナーについて当日の進行の調整中。

研修集会は、第7回生涯学習研修会の会場を決定し、Webinarと対面開催に向けて準備を進める。

講習会終了しアンケート集計中。

学術誌編集部は「総合理学療法学」について論文査読・審査・修正中が6件、早期公開が1件であることが報告された。

鈴木理事より3士会合同セミナーについて、2月16日、9時～12時30分で開催予定。射場副理事長より開催挨拶、閉会はST会長に依頼予定。開催内容について、OT・STより2回開催し、1回目は会員、2回目は府民に向けた講座の開催について提案あり、9月23日（祝）を候補日としており、「食事について」PTOTSTを紹介するようなこと、相談事業などが会議の中で案としてあがっている。開催地：森ノ宮医療大学が候補（会場費は無料の予定）府民から参加費徴収するわけにいかないため。昨日の会議内容を共有。

辻岡局長（教育局）より教育局の進捗状況について資料に基づいて報告があった。学術大会部は第

37 回大会の協賛企業募集、演題登録開始予定、準備委員は委嘱状に進んでいる。
臨床実習教育部は、センター主催の臨床実習指導者講習会開催に向けた最終準備、Master 講習会の準備を進めていること、実習前 OSCE について会議を開催したことが報告された。
研修理学療法教育部は、新人症例発表会の抄録集の作成中、残り南支部のみ。後期研修の開催に向けて第 10～13 回について台 14 回のみ講師事情により 2 月 27 日に日程変更していることが報告された。

イ キャッシュカード(新人症例発表会用)の紛失について

本田理事より資料の通り報告があった。
上記の報告内容に対して、特に意見や確認事項は無かった。

(3) 審議事項

ア 教育局の追加部員について

都留理事より、資料の通り報告があった。
特に異論なく、全員の賛成が得られ、承認された。
委嘱状に関しては病院長確認後の後に手続き予定。

イ 近畿理学療法学会 大会長応募要項および必要書類について

都留理事より、資料の通り報告があった。
中川理事長より応募要項の選考について、厳正な審査という記載について、府士会との会議時に選考方法が曖昧では難しいのではないかと指摘あり。都留理事より内規としてセンターと府士会での選考基準を定め、2 月の合同会議で諮る予定との報告があった。承認を得られれば随時応募要項を広報していく。また問い合わせ先について、事務所移転の時期と重なるが、現状のままで進めていく事となった。
以上の内容について、全員一致で賛成となり承認された。

ウ 令和 7 年度事業予算(案)について

本田理事、井坂副理事長より、デスクワークの部員にも謝金をという思いから収支+20 万程度と令和 6 年度より減収となるが赤字計算でないため、令和 7 年度の事業予算として執行する予定であることが説明された。鈴木理事より学会大会準備委員の会議費について質問あり。都留理事よりロードマップやマニュアルについて準備委員があまり確認されていない印象との事。今後、理事が直接会議に介入するのではなくマニュアルを確認していただき、質問があれば対応する事とする。井坂副理事長より学会大会開催部に会議の開催頻度や出席人数について最小限で実施し、費用を抑えるよう事務局より進言しているとの説明があった。中川理事長より、労働対価としてではなく、諸謝金という伝え方をする必要あり。現状のシステムで会員が部員として運営に関わってもらえるようにする必要があることを指摘された。

以上の内容について、全員一致で賛成となり承認された。

エ 若手セラピストスキルアップセミナーについて

工藤理事より、資料に沿って説明があった。
開催時間は 19 時～20 時 30 分で現在 4 名の講師に内諾をいただいている。
明日の臨床に活かせる内容でどの支部からも参加可能、開催地も各支部にて執り行われる予定。
講師の選定の意図は初回開催のため、生涯学習局理事およびネームバリューのある講師を選定。
開催時期は新入会ガイダンス後、6-7 月を検討中。
申し込み方法について新人以外は QR コード、新人はガイダンスで案内を配布しフォームにて受付を予定。参加費は協会員 3000 円、大阪府士会員 2000 円、新人は無料とし、協会非会員は参加を認めないこととする。

新入会会員の確保に努め、代議員総会でアナウンスし、国家試験終了後から SNS にて広報予定。

中川理事長より参加者の想定は他士会会員も可能である場合、他士会の新人の費用や、まだ入会出来ていない新人の参加について質問あり。

5月に新入会ガイダンスがあるため、その際にアナウンスし、会員手続きの促進に努める。ガイダンス開催後の2週間程度を目途に開催を進めていく。

實光理事より募集開始時期について質問あり。目的が若手であれば新人よりも先に定員数が埋まる可能性あり。工藤理事より新人以外で30名の枠として募集すること。開催場所については各施設共にある程度のキャパあり。新人と若手で講習会の棲み分けをどうするのか、初回開催のため検討していく。

中川理事より開催場所については将来的には3か所程度で輪番にするなど、開催場所に負担がかからないようにする方法が提案された。

以上について、全員一致で賛成となり承認された。

オ 雑誌冊子体郵送廃止に関する案内文書の発送について

鈴木理事より、資料の通り説明あり。

井阪副理事長より予算内で執行可能かどうか確認あり。元々の予算が多く取られていたため問題ない。

射場副理事長より、案内文章の問い合わせ先について、事務所移転が執り行われるため、2月末以降の案内をどうするかと意見あり。発送時期が7月頃を予定しているため、新事務所の連絡先に変更した上で、発送することとする。

以上の内容について、全員一致で賛成となり承認された。

4 その他

ア 新事務所移転について

本田理事より、新事務所の内装イメージ図が提示された。

内装工事費用で約1400万の見積もり予定。前回話に上がった音響システムは含まれていない。現在工事中であり、次回の対面開催の時の理事会は新事務所での開催となる予定。

イ おおさかPT 学びの道しるべ

安積局長より、資料参照の上説明があった。

實光理事より、読みやすさ重視としていることから、掲載にあたって各部より提出された文章よりも文字を絞っているとの事。レイアウトについてイラストや2段組などでスマホでも見やすいことに配慮している。問題なければ1月20日にホームページ掲載予定。

毎月このボリュームでの広報とするのか質問あり。初回であるため今後は検討するとの事。

また士会ニュースの掲載は継続するののかとの質問あり。現時点での判断として暫くは同時配信を予定、今後の検討課題とした。

また中川理事長より、センターニュースが軌道に乗り、士会ニュースへの掲載が必要なくなった場合、ニュース編集部の業務量が減少することが考えられる。その時に会員の声を拾うような取材業務を行うのもよいのではないかと提案があった。

以上